

経済効果〇〇億円？の謎がここに



政策統括官(統計基準担当)付統計審査官付
統計審査担当主査

永井 一郎

Nagai Ichiro

平成11年4月 総務庁採用
東北管区行政監察局
平成14年6月 秋田行政評価事務所評価監視官室
平成16年4月 統計局統計基準部国際統計課
平成19年4月 大臣官房秘書課
平成21年4月 行政管理局企画調整課
平成23年4月 現職

「産業連関表」ってご存知ですか？

皆さんは新聞で「五輪招致の経済効果〇〇億円」等の記事を見たことはないでしょうか。この「経済効果〇〇億円」ってどうやって計算しているかご存知ですか。実は「産業連関表」という統計表を使って計算しています。産業連関表は、国内において1年間に行われた財・サービスの産業間取引を一つの行列形式にまとめた統計表で、我が国の経済構造を俯瞰（ふかん）できるほか、経済予測、GDP推計等にも利用されています。産業連関表は、広範な分野の膨大な統計資料を用いて作成するため、内閣府、経済産業省等の10府省庁の共同事業として実施しており、総務省はその取りまとめ役を務めています。まさに「実はここにも総務省」なのです。産業連関表の作成は、専門的な知識と膨大な業務をこなす忍耐力が必要とされますが、関係府省庁の方々や大学の先生方と、言わば「オール・ジャパン」のチームを結成して、一大プロジェクトを成し遂げる達成感は格別です。

世界に広がる統計の仕事

総務省は、統計に関する国際協力の統括機関としての役割も担っています。私は、以前、OECDやIMFが行う国際プロジェクトにおける我が国の調整役として、これらの国際機関との連絡調整を行うほか、関係する国際会議に出席して、各国統計局の方々と意見交換を行う機会がありました。元々、私は英語が得意ではありませんでしたが、省内の語学研修や上司の指導のおかげで語学力を向上させ、国際業務の醍醐味を味わうことができました。

タテにもヨコにも風通しのいい職場

総務省は、比較的風通しのいい職場ではないかと思います。タテの関係では、私がお世話になった上司の多くは、部下である私の意見にもきちんと耳を傾けてくださる方々でしたし、ヨコの関係では、若手職員同士が課室横断的に情報交換を行ったり、時には悩み事の相談をしたりしました。また、プライベートでは、職場のテニスサークルに所属し、週末の昼はテニスで汗をかき、夜は冷えたビールで喉を潤して、ストレスを解消しています。